

2021 年度第 2 回理事会 議事録 2021.7.15

日時：2021 年 7 月 15 日（木）19：00～22：15

場所：オンライン開催のため各自自宅・職場

出席理事：神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、金山桂(副会長)、吉本雅一(事務局長)、玖島弘規、佐々木秀一、奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、野本義則、神田崇央、佐藤範明、戸塚香代子、木村修介、望月強併、澤口勇、西川航平、大郷和成（18 名）

出席監事：錠内広之（1 名）

欠席監事：野々垣睦美（1 名）

I. 会長より挨拶

1. 第 2 回理事会開催にあたって

本日は議事が多岐に渡るため円滑な進行にご協力をいただきたい。

理事会の司会進行については吉本事務局長にその任を依頼する。

II. 報告事項について(トピックス・各部署・理事・三役)

【トピックス】

1. 地域支援事業における臨時 WEB 研修会について

遠藤・西川理事より地域包括ケア・地域支援事業に関する今般の動向、多団体と協調しつつ「OT の売り」を売り込むための具体的戦略、人材育成活用等について説明・報告。

認知症がキーワードとして挙がっている。認知症対策委員会とも連携していきたい。

2. 科学的介護情報システム（LIFE）説明会について

野本理事より、介護保険制度を取り巻く背景、LIFE について、令和 3 年度介護報酬改定（LIFE に係る運用事項）について説明・報告。

【各部署】

1. 教育部 奥原理事

(1) 今年度以降の県土会裁量ポイント付与に関して

今年度も昨年度同様に県土会にて一括申請とする。公文書(理事・役員、部員・委員、審査員、講師、地域事業への専門職派遣など委嘱状の発行を伴う活動)発行部署(事務局、学会評議委員会)は発行ごとに名簿を作成し年度末一括して教育部奥原宛に送付し手続きする。

2. 制度対策部 野本理事

(1) 第 48 回度国際福祉機器展 H.C.R.2021 福祉機器相談コーナー協力について

東京都作業療法士会よりブース協力依頼あり。福祉用具対策事業班にて対応する。

3. 規約委員会 神田理事

(1) メール審議について

(ア) 定款第 48 条の『権能』に明記されている事項について

理事会にて審議する事が必要。やむを得ず早急な審議が必要な場合は、事前に理事 ML にて理事・監事の意見聴取をして反対意見がなければ、『参加可能な理事が半数以上いる日程を調整し臨時理事会を開催し決議をとる』。

(イ)それ以外の事項について

現行通り理事 ML にて『意見聴取』し理事全員から承認と監事の異議が無ければ、三役に委ねる。

また次回理事会の議事にて再確認し議事録に明記することとする。なお1人でも反対意見がある場合は、理事会で審議する。

4.ウェブサイト管理委員会 佐藤範明理事

(1) 県士会サイトコンテンツ更新に関して

絵本でみる作業療法のコンテンツ内に動画で見る<解説編>が完成公表。

5.学会評議委員会 戸塚理事

(1)第 18 回神奈川県作業療法学会について

(ア)県学会予算案の改定について

会場をキャンセル（納入済みの予約料は払い戻しなし）したが、online 開催のみに変更するにあたり、企画や運営方法を練り直している。合わせて撮影のための備品や、配信のためのシステム料などの見直しを行ったので予算案を変更する。

(イ)県学会備品購入について

online での学会開催にあたり、WEB 配信のための機材として以下を購入する。

Roland ローランド/VR-1HD AV ビデオミキサー ¥140,800-

サンワダイレクト ビデオキャプチャー ¥25,800-

6.財務部

(1)活動報告

各部署会計担当者を取り纏めた。

通帳とカードは名義変更しだい順次発送予定。

(2)会計説明会

7月16日より開催予定(全3回)。

【理事】

1.金山理事より

(1)選挙ワーキンググループより

課題とスケジュールについて検討

(ア)課題について

選挙管理委員会の組織的な位置づけが明記されていない。

選挙管理委員会に関する規定の見直し、内規・マニュアルの整備がされていない。

(イ)今後の流れについて

組織的な位置づけについて検討。

選挙に関する規定・内規・マニュアルを作成する。

代議員選挙のスケジュールリングについて検討。

8月の理事会で選挙管理委員を承認→選挙管理委員会の開催

9月の理事会で選挙管理委員長を承認

10月1日付で代議員数が確定→選挙活動開始

役割分担

従来 of 選挙の流れの報告 金山

池田氏への連絡係り 神田理事

(2)研修会ワーキンググループより

参加費の納入を正確に行うためにオンライン決済システム(解約金なし)を導入する。

オンライン決済システム Peatix を導入し学術部の 10 月研修会より運用開始予定。

参加区分について、会員の確認方法について、研修会マニュアルの整備について検討中。

(3)医療専門職連合会総会について

6月16日(木)総会出席

議案 第1号事業報告 第2号決算報告・監査報告 第3号議案会則の一部変更(OT士会脱会)

第4号議案役員改選について 第5号議案事業計画 第6号議案予算案

すべての議案が質問事項もなく承認。第3号議案により作業療法士会の脱会が承認された。

2.田中理事より

(1) 地域医療介護総合確保促進法に基づく神奈川県計画(令和4年度分)に位置付ける事業のアイデア募集について

認知症ケアに携わる人材の育成のための研修会事業等について提案ができるのではないかと。

田中副会長と望月理事で1週間を目途に案を作成し神奈川県に提案する。

(2)地域活動支援ワーキンググループより

(ア)進捗状況の報告

団体への支援より会員個々へのバックアップ体制を検討。

→地域支援事業の窓口担当を置くことについて検討。

今後の展開

エリア化の事業で地域の人材発掘。

代議員アンケートで地域支援事業の実態や意識の調査を行う。

県士会で行う研修会で地域支援事業に携わる人材育成。

本件のゴールについて。

(イ)今後の検討課題

目的の明確化 当会が目指す地域活動支援のビジョン

方法 担当部署やエリア長の検討など

情報の整理 各地域状況など収集できている情報の共有

(ウ)その他

大郷理事と西川理事にて代議員向けのアンケートを作成予定。代議員に聞きたい内容を大郷理事より理事MLにて意見を募る。

【三役】

1. 吉本事務局長より

(1)三役会での検討議題について(各部署理事からの提案・審議事項)

(ア)SNS 関連

広報部、ウェブサイト管理委員会にて使用方法のルール等に関して案を検討する。

(イ)各部署によるインターネットバンキングの利用

承認できない。県士会全体の口座の操作が可能になってしまうため。

(ウ)対外広報班からの相談

オリンピック・パラリンピックのボランティアを県士会の事業としては行わない。

→活動までの期間が非常に短く COVID-19 への対応が当会として責任を持って行えないと判断。

県士会事業として派遣したスタッフが感染してしまった、もしくは感染させてしまった場合には、当会

としてもその責任を負わなければならない。対策が不十分なまま県土会のプラットフォームで事業に協力することは非常に大きなリスクを伴う。

会員個人が賛同し参加することは構わないが、その場合には下記の事項について依頼主に確認をすることを条件とする。

A 参加者の条件 COVID-19 ワクチン接種が完了した者に限る

B 感染対策の確認 当日の感染予防対策については適正か(国の基準に従っているか)

(エ)後援依頼に関する事項

共催・協賛・後援については理事会審議事項となる。

当会所定のフォーマットの作成は以前より必要とされていたが現在はなし。事務局にて作成する。

(オ)福利部新企画

関係部署と連携して企画内容を具体化する。

(カ)新規提案事業計画のフォーマット

金山副会長にてフォーマット案を作成し提案する。

(キ)県土会活動におけるオンライン関連機材の貸し出し

提案者の野本理事を中心に必要な物品・費用・管理・貸出方法について検討し提案する。

(2)介護予防ワーキンググループ委員推薦について

任期満了に伴う委員の推薦 木村理事を継続推薦する。

当会の地域リハビリテーション部署担当の遠藤・西川理事と適宜連携協力する。

(3)神奈川県リハビリテーション協議会委員推薦について

任期満了に伴う委員の推薦 田中副会長を推薦する。

2.田中副会長より

(1)事業評価と 2022 年度事業計画について

事業評価フォーマットは達成度(%)を評価し示す。次回理事会ではシートを基に事業評価を報告する。

三役会理事会資料と同じく 8/11 までに提出。

3.神保会長より

(1)中・長期計画について

計画案を提案説明。神保会長より理事メールにて理事より質問・意見を聴取する。

(2)第 17 回神奈川県作業療法学会について

事業実績報告書が未作成未送付であった。第 18 回神奈川県作業療法学会の後援依頼の辞退で発覚。第 17 回神奈川県作業療法学会にて後援をいただいた団体で未送付の団体(9 団体)に「事業実績報告書」「関連資料」「御詫び状」を作成し送付。辞退をいただいた団体からは改めて受託の回答をいただいた。

4.金山副会長

(1)渉外活動報告書について

理事として活動(会議出席、研修会出席、講師、専門職助言者などの活動に従事)した際は必ず報告書を提出。

新フォーマットを共有・使用する。

Ⅲ.審議事項について

1. 横浜市障害区分認定審査会委員候補の推薦についてについて

任期満了に伴う委員の推薦

小林明希子氏(アンフルール)、青木明子氏(クラブハウスすてっぷなな)、沼田一恵氏(自宅会員)の 3 名推薦

→承認

2.各部署部員・委員承認について

→承認

3.後援依頼について

(1)茨城県作業療法士会学会、ブロック学会への後援名義使用申請→承認

(2) 第10回日本精神科医学会学術大会への後援名義使用申請→承認

4.絵で見る作業療法の周知に関して

作業療法啓発を進めるため県内の養成校のオープンキャンパス等で活用を検討。周知啓発の運用及び、送付に関する方法の審議

→承認

IV.提案事項について

【各理事からの提案】

1. テクノエイド協会「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド」の当会登録について

木村理事より提案

県士会事業や会員の所属現場での実証フィールドとしての活用を行うことで、福祉用具やロボット開発に貢献するだけでなく、最新のテクノロジーの情報を入手し会員に提供することが期待できる。制度対策部福祉用具班と相談し改めて今後の進め方を理事メールや理事会で共有し意見を募る。

2.会員増加に向けたプロジェクトについて

澤口理事より提案。

企画調整を取りまとめるマネジメントチームが必要。

澤口理事より理事 ML で理事の質問・意見を聴取する。

3.40周年記念事業について

三役より提案。

本年で当会は40周年を迎えている。40周年記念事業をコロナ禍の中でも可能な範囲内容で開催したい。「会員の凝集性を高める記念事業」のアイデアについて各理事より意見を募集する。田中副会長が取り纏める。

V.その他 連絡事項等

1.議事録署名人について

吉本事務局長から指名があり決定する。神保会長、錠内監事、奥原理事、神田理事。

2.部員承認のための手続きについて

住所変更、会費の納入、入会など手続きに関しては前月までに完了している会員が対象。

事務局と会員内容照会が完了すれば正式に部員承認審議が可能となる。申請の締め切りは三役会までとする。

3.ホームページ情報更新について

ML、ブログの継続、各部署変更点はマニュアルに沿ってウェブサイト管理委員会へ提出。

締め切りは今月末。

4.監事より

本日の理事会を通して今年度の活動がいよいよ本格化してきたことが理解できた。しかし、多様な報告や審議、意見があることは活動が積極的に行われていることではあるが、会議に要する時間が3時間を超えるのは非常に長く役員への負担が重い。会議時間は2時間をめどとして、三役は会議の内容や進行のマネジメントを見直し、各理事は円滑に理事会が進行できるよう発言内容を精査し、より一層の協力をお願いしたい。

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	奥原 孝幸	印
	理事：	神田 崇央	印
	監事：	錠内 広之	印

次回理事会日程：2021年8月22日(日)13時より開催予定 2部構成とする

1部は通常理事会、2部は各部門事業の振り返りと後期の計画確認を予定